

池田先生

先日は暑い中ご講演いただきまして、  
ありがとうございます。遠い存在であった  
太平洋戦争、そして核兵器について考えを  
深める良いきっかけとなりました。

本当にありがとうございます。三谷小 六年担任

## 池田と貝徳さんへ

池田さんの話を聞いて私は原爆とは恐るべき力をもつと改めて感じました。ただた八百グラムが核分裂をおこしたただけで、広島市が大変なことになることを聞き私はおどろきました。横んでいたウランが全部核分裂をおこしたら日本がなくなってしまうかと思いましたが、今私たちは「平和について考えよう」という単元の意見文を書いています。池田さんの話を私は意見文にのせたいけれど構成の関係でのせられませんでした。でも池田さんの本はすぐ読んでみたいです。古本屋さんやインターネット、図書館で探してみます。これから自分で原爆等のことについて調べていきたいです。

池田眞徳さんへ

この前はありがとうございました。原爆の恐しさ  
が、とてもよく分かりました。お父さまが、体験  
したお話を聞いて、背節がゾクとなり、とりはだも立  
ちました。聞いていただけなのに、こんなにしげきがきたとい  
うことは、お父さまは、もっと恐しかったのではないでしょう  
か。池田さんの読み方が、とてもすばらしかったです。感情を  
込めて、大きな声で読んでいたし、少しだけ実演もしてく  
れて、本当に分かりやすかったです。

原爆のことについて意見文を書いているので、頂度良か  
たです。またお話を聞きたいです。

池田さん、

ありがとう

ございます

池田眞徳さんへ

この前はお話、ありがとうございました。  
私は原爆については、本や、国語の授業  
でしか知りませんでした。

その時は「あいむ」と言う感情はあ  
りました。自分とは、とおく、あまり実感が  
ありませんでした。

だけど、池田さんから話を聞いて、あ、本当  
にこんなことがあったのだと、思いました。

そして、もうこんな事は、二度とくり返し  
てはいけないうと、心のそこから思いま  
した。

この前には本当にありがとうございました。  
た。  
もし、また会う、きあいがあたら、また話を  
聞かせてください。

池田 眞徳さんへ

このあじだは三谷少に来て、げんばくのことを色々  
教えていただきありがとうございます。ごさいました。

私は今までたくさんのことを調べてきました。が、  
池田さんの話をまくと読むより、実さいに  
まぐほうがおもしろいことがまぐく分かります。  
おさいちゃんが実さいに戦争を体験していて  
話をまいたのですが、戦争とげんばくで  
くらべてもまぐくちがいました。

今で私は、なぐり合やけんかが怖いと思っ  
ています。実さいは、せんとうや争い、はぐだん  
が、ちたりすることの方がおもしろい  
ことにまぐきました。

色々教えていただき本当にありがとうございます。  
ごさいました。

池田 眞徳さんへ

この前はわざわざ三谷小学校に来て、  
原爆の話をして下さってありがとうございました。  
ございました。

池田さんの話は、原爆の恐ろしさがしつかりと  
伝わってきました。

今、国語の授業では、平和についての  
意見文を書いています。意見文を  
書くための資料にも、原爆の恐ろしさが  
書いてありましたが、池田さんの話の  
方が恐ろしさが感じられ、よりいっそう  
平和についての意見文が書きやす  
くなりました。

この前は、本当にありがとう  
ございました。

# 池田眞徳さんへ

日に日に暑さが増しています。お元気ですか。

この度はわざわざ三谷小におこしになって、私たちにお父様が経験なされた原爆のお話をしてくださって、ありがとうございました。

今までも、本やインターネットで原爆の事を調べてきました。しかし、生の声は聞いたことがなく、原爆のひびきさが、ひしひしと伝わってきました。

今では戦争や原爆を知らない人も多くなってきました。その中で、このような話をお聞きできたのは、自らの経験の一つにもなりました。

貴重なお話をしてくださったことに、感謝しています。どうか体にはお気を付けて。

池田直徳さんへ



ぼくは、原爆<sup>大</sup>ドリームについても、調べたいと思ってました。すると、原爆の色々な話をしてくれる池田さんが話をしてくれました。原爆にはどんなりょくがあるのかなと思っ、て話を聞いてみました。すると、本で見てもわからないままのことで、さくことますますわかりませんでした。話しがたまたまいいしよけいずそろしいとがたじました。中にはむずかしい話もあって、ベトナム<sup>大</sup>になりました。ぼくたちが、ソフソフにくらしてるのが、なにかがうれしくなりました。

原爆のおそろし<sup>大</sup>さがまた、あなたにあがりましました。

ほんとうに、おソガとうごなましました。



池田 七真徳 ヤスヘ

この前は、どうもありがとうございました。  
ました。おかげで、原子爆弾の怖さ、おそ  
ろしさを、改めて知りました。

池田さんのお父さんが、原子爆弾を  
、作った人の人形を見て、「きれいすお  
る」と言った時、ぼくはおどろきしま  
した。現代の人にとって、がんこく  
とかが、悲しいと思うことは、

戦争を体験した人にとっては、きれい  
としが、言えないという事は、戦争  
か、どれほど、がんこくだったかか、  
伝わってききます。たから、そんな戦争  
か、起こらないように、ぼくたちは、  
がんばります。

# 池田と真徳さんへ

ぼくは原爆の話しを聞いて、こわい気持ちと同時に不思議な気持ちにもなりました。それに、ずうと聞いていると目の前から焼け野原になっていて、大きなけがをした人がたくさんいる様な気がして、少しふるえてしまいました。でもそれにたえた。池田義三さんもすごい、それを伝えてくれた。池田真徳さんもすごい、勇気があると思いました。そしてぼくが一番に残った言葉は、義三さんが言った「きれいすぎる」と言う言葉です。この言葉を聞いて、原爆のもたらした被害の大きさか分かった気がしました。ぼくはこの話を聞いて、この全てのことを受け止めて、もう二度あのとときの様なことがおこらないよう語りついでいきたいと思えます。今回原爆のことを教えていただき、ありがとうございます。



池田 眞徳さんへ

この前はいろいろがしい中来ていただいて本当に  
ありがとうございませう。

今まで原子爆弾の事は資料などをみて、と  
ても恐ろしい物だなあ。と、思っていました。  
しかし、池田さんの話を聞くときか出せなは  
どでした。だから本当に原子爆弾の恐ろしさ  
が分かったのも池田さんのおかげだと思っ  
ています。さうていつかは戦争の事も日本は  
忘れてしま  
うかもしれないからさうならぬよ。次の世代  
戦争の事を伝えられていけたらな、と思  
います。

今回は、本当にありがとうございませう。

# 池田さんへ

池田さんの話を聞いて、ぼくは、核兵器は人を人でなくする物だと思いました。

なぜなら、皮がたれ下がっているなんて、まるでガンビヤミイラのように、水の中で死んでいるなんておそろしすぎるからです。しかし、それは世界中の人が知ることが必要かあると思います。で、ないと世界中の人たちが人間ではなくなり、おかしゅうして、同じことをくり返して止められなくなるからです。核兵器が生まれた理由は知りませんが、それじたい存在を消すべきだと思えます。言いますか、もしれませんが、それが平和への大きな一歩だと思いますし、苦しむ人が大きくへ、て、われもが安心できると思っています。これからも、色んな人に、原爆のおそろしさを伝えてください。

池田と真徳さんへ

先日は、お話をありがとうございました。

かく爆たんは、中ハがとてつもない温度で、池田さんのおハメさんの体験のお話の中で、皇太子の死体がころか、ていたということを知って、こあくになりました。

原爆は、あまり広島や長崎におとされても、あまり被害をきたらすことがなか、たどのイメージが大きい、たけど、お話を聞いた上でそのイメージが一転、一秒間で何万人もの命を一人にしてうばった、おそろしい兵器なのだと感じました。

また、戦争がおそろしいことなのだと、ありがとうございました。

ありがとうございました。



池田眞徳さんへ

この前はありがとうございました。私は池田さんの話を聞いて自分の考えかなんとか分かりました。私は、戦争はこわい。と思っていたけど池田さんの話を聞いて自分が思っていた以上に戦争はこわい物なんだと思いました。

池田さんの話の中で分からない言葉などがたくさんあったので、自分で調べてみます。戦争は地獄のようだと感じました。私は世界でやっている戦争を早く終わらせてほしいと思っています。お話を聞かせてくれて、どうもありがとうございました。

池田と眞徳さんへ

ぼくは原爆の話を知り、改めて  
恐怖を感じました。現場を生でみ  
た、眞徳さんのお父さんは、心に大きな  
傷を負われたと思います。そして、  
60年ぶりに広島に行った時、本当に  
たくさんの感情が頭をよぎったと  
思います。なんで罪のない人キガを、  
殺さなければならなかったのかよと思  
います。と眞徳さんのお父さんは人を  
救おうとしたけれど、みんな死んで  
しまっ、こいたことはとても残念だ、たと  
思います。化学は人のことを傷つけ  
るように使うこともでき、人を  
良くすることもできると分かった。  
自分たちは化学を良く使ってほしいです。

# 池田 眞徳さんへ

この前は、ぼくたちのために、ためになる  
お話をして下さってありがとうございました。  
ぼくは、原爆などについて、本やインターネット  
ネットで調べていたけど、生の話は、やはり  
リポ、ライター、ネットで調べてより、も分か  
りやすかったです。池田眞徳さんの、  
お父さんが、実際に体験した話で、より  
分かりやすかったです。原爆の秘密  
や、原爆のしくみなどが分かって、こ  
ろしかったです。そして、池田眞徳さんが  
教えてくれた、原爆のおそろしさを  
、後世に伝えたいと思いました。  
ぼくたちのために、ためになるお  
話をして下さって、本当にあり  
かとうございしました。

# 池田さんへ

ぼくは池田さんのお話を聞いていろいろなことが分かりました。広島島に投下された原爆「リトルボイ」は上空570mで爆発し、しかもウラン50kgの中の80gだけで広島市の町がいきになくなってしまうこと。そして広島の人口35万人の中の被爆者は24万人にもおよび、死者数は14万人にもなったことなどいろいろなことが分かりました。これらのことからぼくはもう絶対日本は戦争はしてはいけないうものなのだ。とあらためて分かりました。これからはぼくも池田さんのようにいろいろな人に戦争のことを教えてあげたいです。

池田眞徳さんへ

私は、池田さんのお話を聞いて、戦争、原爆が  
とても怖くなりました。最後、原爆の被害に  
あった人形を見て義三さんが言った言葉は、  
実際に体験し辛い九日を送った義三さんだから  
こそ、言える言葉で深いなと思います。感動しました。  
私達は今、平和についての意見文を書いてい  
ます。自分の主張をどうしたら他の人に  
伝えられるか沢山の資料を読みました。  
そこで、ある方の詩碑を見て、私たちは何て  
幸せな暮らしを送っているのだろうと思っ  
ていました。池田さんは、平和とはなんだと思  
いますか？ 私は、「暴力などではなく言葉  
、意見で解決することだ」と思います。今回は  
池田さんのお話しで私の考え方が変わリ  
ました。本当にありがとうございました。

池田眞徳さんへ

原爆の話をしてくださって、ありがとうございます。ご  
ざいました。今までわたしは、原爆がこんな  
にこわいものだとは知りませんでした。でも、  
話を聞いて、広島市ではもうほとんどどこに  
いても、生き残ることはできないことがわかり  
ました。太陽が地球にしょうとつしてきたよう  
なぐらい熱いと想像したときは、とてもこわかった  
です。もし、わたしの近くで原爆が落ちたら  
どうすることもできないと思います。

今日のお話を聞いて、戦争はいやだという気持  
ちがい、そう強くなりました。そして、今まで  
感じなかった、平和の大切さを感じまし  
た。

原爆先生の話を聞いて

池田先生へ

ぼくは池田先生の話を聞いて思った  
事がいっぱいありました。原爆とこの話は、  
人の心の中をうばうだけでなく、そのあと  
も、人をサロしめるものなんだかよと思いま  
した。

今の人たちは、原爆というのを体感して  
いまいから、あと、何年かたてば、原爆  
のすごさを人があすれてしまっので、  
池田先生の話を聞いたばかりですが、  
原爆のすごさをあすれなかりで、今の人  
たちに伝えれば、もう原爆は絶体に  
使ってはいけなるといふ事をとみんなが  
あすれなかり、よつにやると思いま  
した。

# 池田先生へ

ぼくは池田先生の話を聞いて  
分かったことがあります。

原爆の中心の温度、百万度、外周  
の温度、七千度、直下の温度、三千度  
には、びっくりしました。

放射線にもいろいろの種類があること  
が分かりました。アルファ線、ベータ線、ガン  
マ線、中性子線の四種類です。放射  
線で一番怖いことは、ヤシロウをば  
かするところです。

ぼくが一番びっくりしたことは、核分裂  
です。なぜなら、核分裂で水素<sup>暴弾</sup>を  
をつくらせたからです。

原爆ドームのお話を聞いて

池田先生へ

この間は、原爆ドームのお話や、平和や戦争の話を書いていろいろなことになりました。

一つ目は、ぼくだんを発射させて、爆発すると、まわりの町にもひかいか加わると知りました。

二つ目は、ゴルフボールぐらいの大きさのぼくだんでも、

広い場所がいつしゃんではかきされると分かりました。

だから、ぼくはぼくだんがこわいです。

三つ目は、原しぼくのわりよくは、熱線、衝げきは、放射線があると分かった。

広島市のひぼく者は24万人、死者が14万人が死なられて非心しい。だから、日本は戦争やばくだんを使わなくなったとぼくは思う。

## 原爆の怖さ

ぼくは池田先生の話を聞いて原爆の怖さを感じました。

当時の広島市の人口は三十五万人でそのうち破爆者二十四万人死者十四万人といつとも悲惨な数値を見てとても悲しくなりました。原子爆弾は一瞬にして多くの人々の命を奪った。この核兵器だと田心った。

広島や長崎の原爆降下がきっかけで世界り中から核兵器が無くなれば良いと田心います。日本や世界が原爆ドームを残した音心味を知りこの世から原子爆弾が本当に無くなれば良いと心から田心います。

原ばくのおそろしき

アメリカの核ばくだんは中バガ  
百万度又たよんで考うえにくい温度  
で、<sup>その</sup>面でも七千度です。

大よーより熱いよんでとんでもな  
と田べいします。

それに、<sup>その</sup>エム気にも天じょうがある  
と田べいしませんでした。

川が一秒も~~無~~内にじょう発す  
よなよんでよんたよものが考うえ

ようがおりません。  
これからはっんたよこことが~~無~~心く

たよてほしりでず。  
それにウランと水と~~その~~外にも核

ばくだんはたよにがおりますか。

# 池田先生へ

ぼくは、戦争のマニヤを見て、すごく爆弾とかが落ちるシーンで、こわい人だなと思っていました。が、池田先生の話聞いて、本当はもっと悲しくてこわいものなんだなと思います。いまはウランがゴルフボールグラウンドをこわせるのな、ドラッグボールなうと思いうと、すごくこわくなっています。みじかにうっているボトルの大きさでもせかいてこわしていけるとは、すごいことだなと思いました。すごく原爆のこわさがつたわて、まじまじしました。

## 原爆先生の話を聞いて

私は、原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のおそろしさやいりよくを知ることができました。原爆のウラン五十キログラムの八百グラム空ルフボールぐらじがかくぶんれつただけで、大きないりよくがあることがわかりました。また、球体の中心温度が約百万度、外でも約七千度と、太陽の六千度よりもはるかに熱いのがとてもおどろきました。

原爆のことをこれから先、伝えていきたいです。

ぼくは、池田さんの話を聞いて  
池田さんのお父さんは、ものすごい  
いつらい思いなだしていたのが  
わかります。ぼくは、大ヤケドした  
人がゾンビみたいにあわてるのは  
見れません。こんなけいけんしてりる  
池田さんのお父さんは、ものすごい勇気  
のある子なんだなと思います。  
ぼくは今かに戦争を続けてりる人たち  
戦争を終わらす事を願います。

# 原爆の後きず

池田先生へ

ぼくは、池田先生のお父さんの体験  
話しを聞いて原爆はつらい道具ではなく、  
未来の道具にも役立っているのことも  
知ることでもできた。

池田先生は最初お父さんの体験した  
ことを人々に話す勇氣は無かったと思っ  
けど、勇氣を出して、未来に進もうと言  
う気持ちがあつたからこそ、ぼくたちに原爆に  
ついて、話してくれたのだと思います。

すごく悲しかった。

池田先生へ

私は池田先生の授業を受けて、とても

悲しかったです。

ひふがたたかれて肉が見えたり

手からかわがたれたり、正直こわかったです。

でもだんだん興味がわいてきました。

夏休みに出来たから原ばくについて調べてみたい

です。あと、ウランや百グラムであんなに

いカがあるのはすごかった。とても原ばくは

こわいと知りませんでした。

これからは原ばくのおそろしさをわすれない

ようにしたいです。

# 原爆先生へ

私は、広島市の人口35万人のうち、40%が亡くなつたと聞いて、びくびくしたし、ショックでした。さらに戦争で亡くなつた人がいると思つたと戦争では何人ぐらいの人が亡くなつたのか知りたいです。原爆先生の話を知りて、原爆がどんなにおそろしいものなのかを知りました。ウラン50kg中80%<sup>も</sup>燃焼したなら広島町が全て焼け野原になってしまう。原爆はもう絶対にどこにも落としてほしくありません。広島には行きませんが、長崎には行く機会があるのです。そのときは、原爆に関係のあるところに行きたいです。

# 池田さんへの感想

戦争について教えてくださり

ありがとうございます。

私のおばあちゃんは5年生の時爆だんを落されました。家族の2人しか生き残らなかったそうです。

よく戦争の事は聞いてます。ですが池田さんよりは詳しく聞けなかつたのでおばあちゃんが受けた悲しみはこんなものだったんだと思います。

地田さんはとても立派だと思います。本当にありがとうございます。

体に気をつけてください。

そして他の小学校の方達にも、たくさん小学校に教えてあげてください。

# 原爆のおそろしさ

ごま前は、お父さんが体験したことを  
おまじがしい中お話しをしてくださってありがとうござい  
ましたお話を聞いて戦争はあつてはならな  
いものだし戦争は怖いものなじし分  
かりました。死んでしまつた人の中でも  
なぜ爆死がおまじがわからないで死んで  
しまつた人はいると思つます。原爆死は  
お父さんは、言葉であらうわすつたのでき  
づいごがあなたのだと思つました。原爆死は  
が最後言つていましたね一緒に、お父さん  
と原爆ドームに行つてきました。その時の  
最後の言葉おまじ今でもわすれられません。  
その言葉おまじは「きれいなまじ」とい  
う言葉おまじでしなけし人形ではあらわ  
いことなんだなまじと思つました。

## 原爆のおそろしさ

同じ日本に住む広島県民や、長崎県民が、被爆したことは原爆先生の話を聞いてよく分かったのに、想像がつかないくらい頭が真っ白でした。皮膚がただれるというのはどのような感覚なのか、痛いのか等、すごく気になりました。

お話の中で難しいと思っただ、ウラン爆弾、プルトニウム爆弾、水素爆弾等の爆発する仕組みもあもしろいなあと思っました。ウラン爆弾が15ktなのに比べ、水素爆弾は15ktもあると聞いてどんな威力なんだと思っました。また、ウランの原子核が1兆の1兆倍もあるというのを聞いてすごくおどろきました。そんなにたくさん原子核を1億分の1秒という速さで核分裂していくのがおそろしいと思ってもそれを実際に体験した広島の方々には非っしかったのだらう、苦しかったのだらうと思っます。そんなおどろきを後の人々に伝えていきたいです。

池田先生に聞いたこと

ぼくは、広島に原爆がサ落とす  
れたことは知っていたけれど、なぜ  
広島にサ落とされたのかがわか  
らなかつたのです。でも池田先生  
の話を知り、広島にサ落とさ  
れた理由が、広島にアメリカ  
人がいないという理由だと  
いうことがわかりました。

そして、直径二百メートル、中心温度  
百五百度、外側の温度七千度の  
爆弾が地上五百七十メートルで爆  
発して、真下の温度が三千度  
になったことがわかりました。  
これから池田先生の話を  
下の年の人に伝えていきたい  
です。

池田さんへ

今回、色々なことを教えてくださって、どうも  
ありがとうございました。今回、原爆の話を知り  
て自分は体験してないけれど、将来、同じことが、  
もう一度起こらないように語り継がなければ  
いけないなと思います。特に、池田先生の話  
で、勸殺手を受けたのはアメリカ人の考え方で  
した。アメリカ人の兵隊はアメリカ人があまり  
任んでいないという理由で、広島に原爆を  
落としたいといっていました。とても自分勝手  
な考え方だなと思います。また、もう一つ、  
勸殺手を受けたのは原爆の中に今もまわる  
ウランがたったの800グラムだけで、広島が  
壊滅したという事です。800グラムとは  
ゴルフボール一個分なのです。今回の話を聞いて  
本では分からない原爆の恐ろしきを知ることができました。

# 原爆先生へ

ぼくは、原子爆弾が怖いのは知こいたけれど、原爆先生の授業を受けるまごはどれくらい怖いのかは全く知りませんでした。どうせ家が一つ爆破できろぐらいだろうと用びていました。しかし、広島市の四のパーセントも焼きつくすなんこすごい力だなと思ひました。しかも爆心直下の温度が三〇〇〇度もあることを知った時はおても驚きました。だから、ぼくは、やはり戦争は嫌だなと思ひました。

# 池田さん

7

この前はお話 ありがとう ございました。

私は話を聞いてあまり身近<sup>い</sup>なうた「戦争」を嗅<sup>か</sup>りま

した。私のおじいちゃんも戦争を<sup>レ</sup>検<sup>レ</sup>験<sup>レ</sup>したと言<sup>っ</sup>て

いました。でも、あまり話をしてくれませんでした。それは

お話を聞いてわかりました。みんなは「わかった、わかった」と

い<sup>っ</sup>てるだけでしたが、私にはただ「わかったか」けんだと思<sup>い</sup>

ていました。でも、つかもうとしたら皮<sup>か</sup>ふ<sup>か</sup>ス<sup>ル</sup>ッとして

とれてしま<sup>う</sup>、と聞<sup>い</sup>たら正直<sup>ひ</sup>ふるえか<sup>と</sup>まりません

でした。みんな大<sup>や</sup>け<sup>と</sup>を<sup>お</sup>て<sup>い</sup>た<sup>そ</sup>う<sup>ひ</sup>す<sup>ね</sup> 私<sup>は</sup>

想像<sup>して</sup>してみました。ゴルフボールくらい<sup>の</sup>ものが一<sup>し</sup>ゅん

にして、人々の命<sup>を</sup>終<sup>わ</sup>ら<sup>せ</sup>や<sup>け</sup>と<sup>を</sup>負<sup>わ</sup>せ<sup>れ</sup>た<sup>も</sup>の<sup>を</sup>。

私<sup>が</sup>そこ<sup>に</sup>いた<sup>ら</sup>ざ<sup>ら</sup>ば、たいに直<sup>視</sup>で<sup>ご</sup>な<sup>か</sup>た<sup>と</sup>思<sup>い</sup>ます。

私はわ<sup>と</sup>とみ<sup>ん</sup>なの「<sup>こ</sup>わ<sup>か</sup>た<sup>し</sup>」が<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>た<sup>と</sup>思<sup>い</sup>ます。このよ

うな<sup>お</sup>そ<sup>ろ</sup>しい<sup>こ</sup>と<sup>が</sup>あ<sup>っ</sup>た<sup>か</sup>ら、お<sup>も</sup>い<sup>た</sup>し<sup>た</sup>く<sup>な</sup>か<sup>っ</sup>た<sup>か</sup>ら、お<sup>じ</sup>

い<sup>さ</sup>や<sup>ん</sup>は<sup>教</sup>え<sup>て</sup>く<sup>れ</sup>な<sup>か</sup>つ<sup>た</sup>ん<sup>だ</sup>と<sup>思</sup>います。私<sup>は</sup>これ<sup>か</sup>ら<sup>池</sup>田<sup>さ</sup>ん

の<sup>話</sup>と<sup>お</sup>じ<sup>い</sup>ち<sup>ゃ</sup>ん<sup>の</sup>こ<sup>と</sup>を<sup>思</sup>い、も<sup>っ</sup>二<sup>度</sup>と、戦<sup>争</sup>を<sup>し</sup>な<sup>い</sup>よ<sup>う</sup>に<sup>生</sup>き<sup>て</sup>い<sup>き</sup>さ<sup>た</sup>い<sup>ひ</sup>です。

# 池田先生へ

原爆。初めはただの爆弾というイメージでした。どれ程の力なのか何が怖いのか。全く想像できません。原理も不明だしどこに落とされたかしか知りませんでした。でも、話を聞いてだんだん恐怖に近づまれていきました。焼けただけだった皮膚なんて相想像もできません。最後に画像で出た人形。あれでも相当怖かったのに、

綺麗すぎる……

と言ったのが驚きました。もし自分が広島のおのころに行ったらのなら、任務を捨てて帰隊していると思います。広島に落とされた原爆、リトル・ボーイ。では長崎に落とされたのは、何という原爆なのかが知りたいです。

広島島の非劇。あんなことをくり返さないために、しかり平和について、考えてゆきたいです。

# 池田 七具徳さんへ

先日は、ありがとうございました。池田さんの  
のお父さんの話を聞いて、広島島の原爆のこと  
が、とても理解できました。

うちのひいおじいちゃんと、ひいおばあちゃん  
と、犬おじさんは、被爆をして、亡なっ  
てしまいました。それまで原爆のことについて、よ  
く、分がりませんでした。24/35 がひはくした  
と言っていたので、そのうちのろ人なんだな  
と分がりました。それに、かみの毛かぬけるこ  
とは、何だろうという疑問がありました。  
が、細胞を破壊されると分がって、たばけか  
みの毛かぬけたのが分がりました。あと、遠伝  
にも映像があると聞いていたので、自分の  
も被爆しているという事になります。今後  
というふうな映像があるが知りたいです。

池田さんへ

六月二十五日はお話ししてくださいありがとうございました。  
ございました。

ほくは、「リトルボーイ」というばくぢんのしくみのお話が一番いんげう的でした。じっはほくは広島島の病いんで生まれました。ほくのおばあちかんとおじいちゃんは広島島にいらるので毎年広島島にあそびに行きます。あそびに行ったら原爆ドームにも行くよていなのでものじみです。原爆ドームに行くともっとリトルボーイなどのことが学べるのでうれしいです。

池田さんのお話のおかげで原爆に興味をもつことができました。この印刷はほんとうにありがとうございます。ありがとうございました。

池田さんへ

# 池田さんへ

先日、原爆のことをお話しして頂いてありがとうございました。  
ぼくも、実は、ひいおしいちゃんが原爆で死んでしまって  
おじいちゃん、おばあちゃんが原爆の話をよく  
聞かせてくれました。それに、平和記念資料館へ  
も2度行ったことがあるので、池田さんの話は、  
とても理解でき、原爆のおそろしさを、改めて  
知りました。ぼくは、池田さんが伝えてくれた  
原爆というものを、後世に伝えたいです。  
そして、平和へ向かって務めていきたいです。  
ぼくは、あの2時間とても貴重な体験ができた  
と思います。池田さんありがとうございました。

池田 さんへ

この二冊は空しゅうの事や、原ばくの事を  
とおしえてくれてありがとうがとうございませ  
した。ぼくは原ばくは人を病むはきを  
世るのがもく的でばくだんを落してい  
たんだと田舎をいたけれどとも池田さんの  
話しを聞いて原ばくは人の心ふを焼いた  
り、焼き殺したりする事ができるこ  
ともおかりしました。

クイズご正かいしてもらった本、また読み  
たすだけれどもありがとうございしました。  
またきかいはあれば話を聞かせてください。

# 池田さんへ

この前は、本当にありがとうフサイ  
ました。原爆の被害にあった人たちは血  
だらけで体の皮がはがれていたりして、大間  
の形では無かったことがいんしょうに残りました。  
あと、これをなにくさんの人が死んでしまう戦  
争はもう絶対にあつてはいけません。田ん  
びんが、あと、原子爆弾が爆発するまで、球  
がぶきその球の中の温度はなんと100万と  
いうことがびっくりしました。池田さんのお  
かげで戦争めことがよく分かるようになりました。  
本当にありがとうフサイしました。

# 池田さんへ

先日は、ぼくたちのために原ばくの話をしてくださってありがとうございました。池田さんの話を聞いて原ばくは大変こおいものだということがわかりました。原子ばくだん1個で死者数が14万人になったのでこおいなと思いましたが、被ばくした人は体全体が焼けてしまったからとてもかおいそうだと思いました。原子ばくだんの中の温度が100万℃もあると聞いてとてもびっくりしました。

池田さんの話を聞いて戦争は絶対にやらないほうがいいと思います。た。お話ししてくれてありがとうございます。た。

# 池田さんへ

先日は、原爆の話をしていたので、  
ありがとうございました。

ぼくは、戦争のひどさや、さんごくさ自分が  
りました。原子爆弾は、いっしょにして、人を  
ころしてしまったり、人の体を、人の体では、ない  
ような形にしてしまい、手をひっぱると、皮ふ  
がはがれ落ちてしまったり、人を丸こぼにして  
しまつことが分かりました。それに建物を、  
破壊してしまったり、骨組みだけにしてし  
まつことが分かりました。それに、その戦争  
で、一番犠牲になつてしまふのが子ども達なの  
で、とても話を聞いて、悲しくなりました。  
ぼくは、原爆の話を聞いて、戦争のことや、その  
ような武器について、自分の考えが持てました。  
どうもありがとうございました。

池田眞徳さんへ

先日はとても気持ちよくなことを、お教え  
えいたたいてありがとうございます。つづいていまし  
た。ぼくの知るよかったです。たとえば、  
ウラン800gで広島をばつてきめる  
ことなどとして、戦争の怖さなど  
かわかりました。クイズなどもやれて、  
とても楽しかったです。ぼくはかく兵  
器なんか普通のばつだと思っ  
ていただけれど、かく兵器の本当の怖  
さをかんじとりはだか立ちました。  
本当に今回はありがとうございます。  
またお話を聞けたらうれし  
いです。

池田ヒ具 徳士人へ

先日は、原爆にかんする体験・情報  
を教えてくださいただきありがとうございました。  
池田さんのおかげでたくさん  
のことが分かりました。一番おどろ  
いたことは原爆の温度のことでした。  
原爆は中心が百万℃で表面が六千℃  
大陽は表面が六千℃で周囲が百万℃  
なので本当はほとんど同じだ。と思いま  
す。本当にほとんど同じだ。」  
と思いました。またお会いできる  
ことがあったらその時はよろしくお  
願いいたします。あと、ねくそくの  
メッセージは言える機会があったら  
必お言っておきますのでぜひ安心  
ください。

# 池田ナハル

ぼくは、池田ナハルの詩話を聞  
いて、いろいろなことを知りまし  
た。

原爆でひどいことをかま  
島がんでないこと、  
で考へるだけであらうし、  
羊をつかむと皮がめく  
こともおそろしいです。

ナハルに、原爆のしかけが  
ていた、ただ、たく  
し、  
ま。

## 池田さんへ

この前は原はくの話をしてくれて  
ありがとう。ごいしました。

はくだんがサ落されたときのことと  
原子はくだんの仕くみがよく分かり  
ました。これからも原はくのことを  
学習日に生かしていきまいです。

初めは原はくのい力がすごい大きい  
ことしか知っていません。たのに

池田さんの話を聞いて原はくの中に  
はウランが入っているとかたった八百  
グラムでほんとうにすごいばく発を  
おこすことなんて初めてききました。  
このようなことを学習日だけでは  
なくもっと他のことにも使っていきた  
いです。

# 池田さんへ

池田さん、先日は原ばくのお話や、池田さんのお父さんが体験した事を話してくれてまことにありがとうございました。ぼくは池田さんのお話を聞いて、新ためて原ばくのこわさを分かりました。特にこわかったのは、池田さんのお父さんの体験を聞いた時です。ひんが焼けていて、手をもとうとする、ひんがずれおちたりといる被爆者の様子や、生きている人のきず口にも、うじ虫がいて、池田さんのお父さんの部下がそのきずをえぐって、うじ虫を出したというのがこわかったです。

ぼくは、池田さんの話を聞いて、戦争や原ばくは、なまじうがいたいと思いましたが、今、ぼくたちは、国語の授業で平和について考えようというので、音見文を書くこととしています。その音見文の中で、池田さんのお話の一部をいれたいと思います。先日は本当に、お話ありがとうございました。

# 池田さんへ

先日は、原ばくについて教えていただきありがとうございます。広島に原ばくが落とされたことについて、分かりやすく話していただきとても分かりました。落とされた理由。上空向めか。その時の状況について……など色々教えてくださいたいです。ありがとうございます。

その中で私が印象に残ったのは、二百m直径で、中心が百万円で、周りが七千円で上空五七十mから落とす。直下温度が三千度だったことです。熱つく、大きく、近くで落とされたのでびっくりしました。被ばく者や死者が非ばくそうでした。でも、戦争のこわさは、カノことがよく伝わりました。ありがとうございます。

した。

## 池田さんへ

先日は、国語の勉強でくわしく戦争のことなどをお話をしていたたきありがとうございます。つぎございました。

先日お話をしていたたいて心に残ったことがいくつもありました。そのうちの二つのことをお話しします。一つは、原子ばくだんの放射線のことです。死ばう率四十%ひびく者二十四万人、死者十四万人。私はこの数値を聞いた時、正直言、てわけがわからないけれど、自分が死ぬかもしれないと思ひました。放射線は本当に怖いと思ひました。もう一つは、手を引、ぱううとしたら、皮が剥、は、れて、とれたことです。私はそのお話を聞いて、それほど熱線が強かったことが分かりました。

先日は、本当にお話を、わかりやすく、くわしくお話しして、いたたき、ありがとうございます。原子ばくだんのことかよくわかり、そして、知リたくなりました。本当にありがとうございました。

池田さんへ

先日は、原爆ノについての話をしてくださり  
ありがとうございました。

池田さんの話はとても勉強ノになりました。池田  
さんのお父さんの広島での体験はとても心に残ノりま  
した。

原爆の熱でやけてしまった人を持ち上げようとし  
ても、体の皮がはがれ、体液が出てくる、手をなな  
め前に出して歩く、考えたらぞ、としてしまっ  
ました。しかたがた

また、原爆ノのくわしい話も聞きました。原子爆弾  
は放射線、爆風、熱線を出すということ  
もわかりました。

ほくは、池田さんの話してくれたことを  
しっかりと感ノじ、戦争の大変さを覚えて  
いきたいと思ひます。

# 池田十人へ

先日は、池田さんのお父さんが体験した戦争のお話をありがとうございます。難しい話は、わからないけれど

池田さんが話したこの中の人口三十五万人の広島県で被爆者が二十四万人、死者は十万人もいて、とても悲惨だったことがわかりました。戦争の時に塙口にうじ虫がいた話や様子を想像すると、痛いところではなかつたと田貝います。

池田さんのお父さんが源爆ドームに行つて言った「まじれいすむろ」の一言は、本当は、ほんまに怖いなって思っていたのか、戦争していた時に生きていた人にかわかわないと思われています。先日は本当にありがとうございます。

池田

さんへ

先日は、原爆のお話をしていただき、ありがとうございます。ございました。私は、一度平和記念資料館に行ったことがあります。そのとき、肉がたれ下がっている人形を見たとき、「気持ち悪っ。」と思いました。けれど、池田さんのお父さんは、「きれい。」と言ったのは、本当は、落とされた日は、もっとすごかったのだと思いました。

池田さんのお父さんの体験記を聞いて、そのとき、広島はどうなっていたかが、よくわかりました。手の皮がズルとはがれるところは、とてもかわたですが、私は、その場にいらなくて本当によかった。と思いました。私のひい祖父も、落とされた日、島病院に行くはずでした。けれど、船の人が、つれていくのを忘れてしまっていました。その人が忘れてよかったと思いました。

原爆のことも、くわしく一つ一ついねいに教えてもらったことで、とても勉強になりました。池田さんに教えてもらったことを、勉強にいかしていきたいと思います。本当にとてもきこちょうなお話をしていただき、ありがとうございます。ございました。

# 池田さんへ

この前は、戦争のことや原はくのことを話してくれてありがとうございました。

ぼくは、戦争のことは、知っていたけど、原はくのは、あまり知りませんでした。

ぼくが印象に残ったことは、一つの原はくで、広島市の人口三十五万人のうち、ひばく者<sup>数</sup>は二十四万人で、死亡率が四十%と高いことでした。

原はくさんという言葉を水素はくさんという言葉で聞くと、どういふしくみになっているか、よく知りませんでした。でもそのことも池田さんの話でよく分かりました。

ふた日間、村のよな話をしてくれてありがとうございました。

# 池田 さんへ

先日はわざわざお来しいただき、ありがとうございます。  
ごさいました。

今、私達は国語の勉強で「平和」について勉強  
しています。そして、私は、意見文に戦争のことも  
取りいれようと考えました。でも、戦争と聞いて  
も、あまりどうゆうものかわかりませんでした。ただ  
「とてもこわい」としか思っていました。その時、  
池田さんのお話を聞き、戦争のおそろしさがすこくよく  
分かりました。一番心に残ったのは、池田さんのお父さんが  
部下の方たちと、島に帰る時出会った足をけかした  
女の人と会った場面です。生きている人にも、うじ虫がくっ  
ついてしまうなんて、原爆がおとされた広島のおそろしさが  
よく分かりました。他にも原子爆弾のしくみなどとても  
くわしく教えてくださり本当にありがとうございます。  
池田さんのお父さんも、七くま、アしま、たけと、さんとも  
きちょうな体験を教えて下さって本当に感謝して  
います。お話しして下さい。たこと、池田さんのこと、ずいといわす  
れません。本当にありがとうございます。

池田さんへ

ぼくたちに話をしてくださってありがとうございます。  
ごさいます。

ぼくたちは、いま「平和」について考えるの勉強も  
していたのびなうどびつたりのお話でした。

ぼくが印象に残っているのは、ゾンビの  
ぶつな手をして歩くことです。ぶつうに

歩くとわきがこすれてすごく痛いというの

が、それでも印象に残っています。しかも池田さん

の読み方が上手で火の皮がはがれおちたのところ

が、すごく痛々しく、聞いていてすごくわかりやすく  
伝わってきました。

池田さんのお父さんが「きれいすぎる」という言葉が  
かすでくびつくりしました。あれできれいなんじ

あ、かしいと思いました。またエカイがあったらもつと  
お話を聞かせてください。  
「ありがとうございしました。」

池田 さんへ

先日は、いそがしい中、ありがとうございました。

私は、国語の勉強で、「平和について考える」という

勉強をやっていて、そのときに、原爆のことについて調べていたので

とてもさんこうになりました。ありがとうございました。

そして、お話の中にあたり、皮がむけてしまう。や「手を上に

挙げて、歩いてきた」など聞いてとてもこわかったけれど、（さか）

そのあとのろう人形の話や、原子爆弾の話も聞いて

広島に行つて原爆ドームを見に行きたいと思いました。

また、原爆は子孫にも影響するよと聞いて、とてもおどろ

いたよ、ともに、おそろしいものだと思ひました。このことを

また 教えてくれて、ありがとうございました。

池田 ヒ具 徳 先生へ

先日はおいそがしい中来ていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

私は以前、観光のため、広島におとずれたことがありました。そのときに資料館であの被爆した人の人形(もけい)を見たときに、原爆のおそろしさを感じました。だから先生のお父さんの義三さんから言た「きれいすぎる」という言葉が私は忘れられません。あれがきれいだとすることは、現実にはもっとひどくおそろしく、地獄のようだ。たのひしようか。そうだとしたら、原爆は私が思っている以上におそろしいものだと分かります。大変勉強になりました。

先生の話は大変勉強になりました。私も、原爆が二度と落されなことを願っています。

# 池田さんへ

急がしい中、私たちのためにいろいろなお話しをしてくださって本当にありがとうございます。私は、自分自身と、戦争がなかりませんでした。でも、池田さんのおかげで、戦争のくるしさ、悲しさ、大変さがよく分かりました。池田さんのお父様と、原爆ドームに行った時、「きれいなぞる」と言ったのに私ははっとしました。この写真でもとても悲しかったのに、もつとむどく、私たちの想像以上のだろうかと。その時思いました。肌がめくれ人の次女ではなくなっている。このことを心で受け取めたお父様。そして、お話しをしてくださった池田さん。とても尊敬しています。私たちはこれから、争いなく、平和な未来を築いていきたいです。ノウバル賞を取ったらちゃんと池田さんのことをみんなに伝えたいです。

# 池田さんへ

おいそかしい中にほんまのた  
めに来て頂き本当にありがとう  
ごさいました。池田さんの詩を  
きいて池田さんのお父さんが見た  
原爆のおそろしさがすごく伝わ  
てきました。原ランブルボールを  
分ばらしいの大きさを広島を  
焼けのばらにできるなんて本  
当にぞくぞくします。池田さんの  
お父さんが池田さんと原爆資料  
館に行くと人形に

「きれいなさる」

と言ったまま言いはあの人形だけでも  
無理なのに池田さんのお父さんは本  
当にらしい思をしたのだと思います。今回は来て  
頂きありがとうございます。

池田さんへ

急がしい中来てお話しいしてくれて  
ありかとうござりました。めずら  
しい話をしてくれて勉強になりました  
した。私が体験したことないした  
くもないお話しいしていただけてとも  
うれしいです。池田さんのお父さんは  
とても大変な思いをしてそのお話し  
はとてもすこかったです。私は原ほっか  
お手上りの時の話かとても残っています。たく  
さんのおかげ自分たちを追ってきてその  
追って来た人を助けようとしてるかも  
うと手紙のほいてもある。と皮ふか  
ほかれおすてしまふ。そんなの想像するだけで  
こわくなります。だけど、このきかりか逆に良  
かったです。きこような話ありかとうござりました。

# 池田眞徳

ぼくは池田さんの話を聞いてた  
くさんの事を知れました。例えば  
原爆の構造、ゴルフボール、個分の  
ウランがかく分れ方をおこして広  
島も全焼させたのも初めて知り  
ました。

意見文では、さんこうになりよく  
かけました。

きこゆうな話をしてくれて本当にあ  
りがとうございました。

# 原爆のおそろしさ

この間はお急がしい中三谷小学校に来て頂き、ありがとうございました。池田先生の話を聞いて、原爆というものがとてもおそろしいことがわかりました。広島県や長崎県は何も関係してないのに、爆弾を落とされたのはとても悲惨だと思います。けれども爆弾が落ちたから、そのおそろしさを知り、今の日本が平和になっっていると思います。原爆の威力は、とても大きいのとがわかりました。あのゴルフボールぐらいの大きな爆弾が一瞬の間に核分裂をおこして、広島を中心、相生橋に落ちたことはとても威力がないと出来ないことだと思えます。私たちがあの一瞬の間、何も感じられなかつたと思えます。原爆した広島市の約半分が亡くなつてしまつたことから、とてもおそろしいことがわかりました。でも今、とても平和な日本になることができたことは、原爆したおかげだと私は思っています。

もっと平和になるために、人との「思いやり」を大切にしたります。ありがとうございました。

# 池田眞徳さんへ

私はこれまで生きてきて原爆がもたらす悲惨さやむごさをなんとなくは知っていると思っていました。今回、具体的に体験を聞き、被爆された方だけでなく、被爆者を救った人も苦しい気持ちになっていたことに気付きました。同じ人間なのに同じ日本に生まれたのに、たまたまその時代に広島市に生活していたというだけで、何の罪もない方々が想像もできないような苦しみを受けていたことを考えるだけで、とても心が痛みます。眞徳さんのお父様が資料館の人形を見て「きれいな子さる」とおっしゃったことがとても心に残っています。これから、広島原爆は、ただ悲惨だ、むごいという言葉だけに終わらず、その中にある経験した人の気持ちまで伝えていきたいと感じました。お叱り、と、う心に伝わるお話をいただき、ありがとうございました。

先生の話を聞いて

池田先生へ

わたしは、池田先生の話を聞いて、原爆の怖さを感じました。

なぜなら、原爆が落とされると、一瞬にして、たかさんの人の命がうばわれて、たかさんの人が火傷になっ  
てしまっからです。

その中でも、わたしが一番怖いと思ったのは、火傷をした人を引き上げようとしても、皮膚がはがれ落ちてしまうという事です。過去に、そういう事があり、今も苦しんでいる人がいるという事もびっくりしました。

わたしは、原爆の事を調べた時も、びっくりする事もありましたが、実際に話を聞くと、さらにびっくりする事もありました。

そして、今後も平和について考えていきたいと思いました。



## 平和な世界に向かって

今回、貴重な原爆のお話をしてくださって、ありがとうございました。

お話を聞く前、本や資料などで学習しました。でも、本などでは、人々の苦しみは、なかなか読み取ることができませんでした。でも、お話を聞いていたら、人々の痛みや悲しみまでもが伝わってくるようで、私まで、悲しくなったり、こわくなったりしました。

私は、原爆でなくなった人の命をむたにしないためにも、これから、平和な世界を目指して戦争や争いが無い世界を創っていく事が何よりも大切だと思えます。

広島の前爆ドームには行った事が無いけれど、今回のお話を聞いて行ってみようと思いました。

# 池田眞徳さんへ

私は眞徳さんのお父さんが言った「きれいな  
すぎろ」という言葉をどこかで聞いたこ  
とがありました。でも、なぜ言う言、たの  
か分かりませんでしたが。ですが先日眞徳  
さんが話してくれたお父さんの日記や  
原爆のしくみなどでなんとなくですが  
分かったような気がしました。あれほど  
おそろしい人形でも表せないようなお  
そろしさ。もう生きていゝるのか死んでい  
るのか、人間なのかそうでないのかも分  
からない人達。たった800gで広島中を  
非惨な目に会わせた原爆。その原爆を  
落としたアメリカの人。色々なおそろし  
さを日記で伝えてかたていました。眞徳さん  
の話を聞いてや、と原爆の本当のおそろ  
しさが分かりました。先日は本当にありが  
とうございました。

広島 原爆の話を聞いて

私は、広島 原爆で、苦しい思いをした人がたくさんいることがわかりました。原爆は、一瞬間で何万人もの命をうばったり、被爆者やたりしたので、とてもおそろしいものなんだと思います。

広島に原爆が落とされたという悲しいことを忘れたら、原爆で死んだ人たちの無念さが伝わらないので、私は、いろんな人たちに、原爆のおそろしさを伝えられたらいいなと思いました。

なぜ、原爆は、あれほどの勢力があったのかや、どんな仕組みにな、ているのかも、よくわかりました。戦争を終わらせようとして原爆を落としたアメリカは、すごい技術だけど、やりすぎだと思いました。

## 池田先生へ

先日は、私たちのためにお忙しい中お話をしてくださってありがとうございました。

私が一番感動したのは、先生のお父さんが原爆ドームに行かれた時、「きれいすぎる……」とつぶやいたことです。実際に先生のお父さんは戦争を体験し、原爆も体験しました。しかも、今原爆ドームでウラン形になっている被爆者の方もたくさん見えています。私は原爆ドームの写真を見た時、おもわず目をつむってしまいそうになりました。しかし、その言葉を聞くとおどろきました。実際はも、とひとかたななんて……。

原爆の威力も悲しいものです。三種類に分かれた中で一番強いのは放射線なんですね。人の体に後々残ってしまおう。最後に、私は戦争は二度としてはいけないと思います。もう、絶対にやめてはいけません。これから、次の世代に、この話をどんどん伝えていきたいです。

# 原爆の話を聞いて

池田さんの話を聞いて、原爆はとても恐ろしいもの  
だと思いました。

池田さんのお父さんが博物館で人形を見て、「きれい  
すぎる。」といったと聞いておどろきました。おどろきました。  
あの人形がきれいなら、池田さんのお父さんはどんな人  
たちを見たんだらう。と疑問に思いました。

でもキッとわいたたちの相像できないようなものを  
見たことは分かりました。

池田さんのお父さんもその仲間のしたことはとて  
もすごいことだと思いました。

自分だったらあんな作業はできないと思います。

お話を聞かせてくれてありがとうございます。

## 核なき社会と現実

私は核兵器のことなど想像したことはありませんでした。核兵器は私たちが決して関わりのないものだと思っていたからです。しかし、池田さんの話を聞いて私の核兵器に対する考え方が変わりました。我が国日本は唯一の被爆国として責任をもって核兵器をなくすための努力をしなければならなければいけないのです。そして、核なき社会を目指していく必要性があることも改めて感じました。戦争が終わった後でも、また核兵器を保有している国は少なからずあると思います。そして、戦争で苦しんでいる方々など世界中の人々が核兵器に対して悲鳴をあげています。だからこそ私たちは核なき社会という大きな問題に取り組まなければなりません。この課題こそが人類にとって一番大きな難題でもあり、絶対に乗り越えなければならぬものでもあります。でも、日本の原爆を経験したからこそ、核なき社会という課題は、きっと乗り越えられることができると思います。

## 池田 旨徳さんへ

この間は、三谷小学校にきてくれてありがとうございました。  
どうもありがとうございました。

原爆の話は、少しこわかったけど、池田さんの話を聞けてよかったです。そして、お父さんの体験記はとても心に残っています。私だったらこわくてにげ出してしまうのは、池田さんのお父さんは、何人も助けたのがとても感心しています。

体験記だけじゃなく、原爆の構造まで教えてくれえました。私はそれで、原爆のことをもと調べたくなりました。それに、原爆のおそろしさを改めて知りました。

今、私たちは原爆をふまえて、「平和」の意見文を書いています。池田さんが教えてくださったことを加えて、いい意見文にしたいと思います。

池田 真徳さんへ

私は池田さんの話を聞く前は、原爆の本当の恐ろしさ  
が分かりませんでした。でも池田さんがお父さんが  
体験した事をゆくり教えてくれたり、クイズを使  
て教えてくれたので、良く分かりました。そして最後  
に出た人形の映像は、少しおどろいたけど、それを見た、

義三さんの「モロいすまゐる。」という言葉は本当に  
美我三さんしかいえない言葉だなあと、思い感動し  
ました。

夏休みにも、たら実際に原爆ゲームに行きたいと思  
いました。

そして池田先生の教えてくれたことをたくさん  
おぼえようにならなうに生かしていきたいです。

池田眞徳さん

私は池田さんの生の声を聞いて心には  
たくさんのお思いが残りました。原子爆弾が  
投下された広島の状態がまぶたにずっと残  
っています。今の日本からはこのような事が  
あつた事は考えられません。でも池田さんの  
話を聞いて、きっとその場は地獄のよういや、  
それ以上の惨害だと思ひます。原爆のこ  
とを私たちに伝えて下さつてありがとうございます  
ございました。私は池田さんが伝えて下さつた事  
を一生心にためて、後世にしっかり伝えていきま  
す。本当に本当にありがとうございます。  
いつまでもいつまでも、このご恩は忘れません  
どうか、もともとたくさんの人達にこの  
教訓を伝えて、いつ下さい。ありがとうございます  
ございました。